

巻 頭 言

JFE スチール 常務執行役員
ステンレスセクター長

丹村 洋一



ステンレス鋼板は、その優れた耐食性、耐熱性を背景に、厨房機器、家電製品、自動車排ガス部品、産業機械、建築、土木構造、さらには原子力発電に至るまで、幅広い分野で需要が伸びています。世界におけるステンレス鋼生産量は、2001年に年間2000万トン足らずでしたが、2007年には2800万トンを超えるまで伸びており、ステンレス鋼はまさに社会基盤を支える重要な役割を担うまでに成長してきました。近年では、建築分野でのメンテナンスフリー化やライフサイクルコスト削減を目的とした使用例が多く見られるようになり、地球に優しい鋼として位置づけられています。

一方で、世界のステンレス鋼生産能力は、中国を主体とした設備増強により、すでに上述の需要を凌ぐ3500万トンとなり、2006年問題と称された供給過剰に陥っています。このような状況は今後も続く予想されることから、ステンレス鋼の市場における競争の激化が懸念されます。

このような背景のもとで、JFE スチールは、クロム鉱石の溶融還元、大容量の強攪拌真空脱炭炉 SS-VOD、ダスト・スラグリサイクルのための精錬炉、さらには溶鋼保持炉など特長ある新製鋼設備を立ち上げるとともに、普通鋼設備である TCM（タンデム圧延機）と CAL（連続焼鈍ライン）を活用した高生産性冷間圧延商品「機能品」の製造体制確立など、クロム系ステンレス鋼（フェライト系ステンレス鋼およびマルテンサイト系ステンレス鋼）の競争力強化を図ってきました。その結果、2005年4月には、クロム系ステンレス鋼の製造に特化し、世界で唯一のクロム系ステンレス鋼メーカーとして、自動車用高耐熱ステンレス鋼、省資源型ステンレス鋼、高加工性ステンレス鋼など、多くの優れた特性のクロム系ステンレス鋼を開発し製造、販売しております。

クロム系ステンレス鋼特化後の新商品である、ニッケル、モリブデンフリー SUS304 代替高耐食フェライト系ステンレス鋼「JFE443CT」は、原料の高騰を背景に需要が急増し、韓国、中国での同類鋼種の誕生や既存のクロム系ステンレス鋼の需要拡大など、世界のステンレス鋼市場に大きく貢献しました。その点が高く評価

され、2年連続で新聞社賞をいただいたほか、2007年には市村産業賞功績賞を受賞することができました。今後も常に最高の技術を持って社会に貢献すべく努力して参る所存でおります。

本誌はJFEスチール発足以来の最初のステンレス鋼特集号として、当社ステンレス鋼製造の歴史や最新の技術、特長ある商品などについてご紹介しております。皆様のご参考になれば幸いです。